

# 令和4年版 環境レポート

第2次かんた環境未来図（苅田町環境基本計画）に掲げた目標の達成状況や施策・事業の実施状況について令和3年度の成果をとりまとめた報告書です。



（令和3年6月 与原小学校で開催されたエコ出前講座）

## 苅 田 町

## 基本目標1

# 水：きれいな川や海と水資源を大切にすまち

## 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R3年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	河川的环境基準適合状況※1	66.7%	83.3%	100%	B
	海域的环境基準適合状況※2	20.0%	20.0%	現況値より 増加	B
	生活排水処理率※3	83.2%	92.5%	92.0%	A
取組指標	下水道普及率	40.4%	53.1%	68.4%	B
	川をきれいにす啓発イベント の実施回数	1回	3回	2回	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない

※1 河川的环境基準適合状況=BODの測定地点数に占める環境基準適合地点数の割合

※2 海域的环境基準適合状況=CODの測定地点数に占める環境基準適合地点数の割合

※3 生活排水処理率=(公共下水道処理人口+合併処理浄化槽人口+農業集落排水処理人口)÷行政区域内人口

- 河川的环境基準適合状況については、環境基準が適用される河川の測定地点6地点中5地点において環境基準を達成しています。目標達成に向けて、水質改善の取組を実施していきます。
- 海域的环境基準適合状況については、地先海域（苅田港内）10地点中2地点において環境基準を達成しています。目標達成に向けて、水質改善の取組を実施していきます。
- 生活排水処理率については、公共下水道処理や合併処理浄化槽、農業集落排水処理人口の増加により前年度（92.0%）より0.5%上昇し、目標値を満足しています。
- 下水道普及率については、下水道認可区域を着実に整備し、供用開始区域を広げており前年度（52.2%）より1.1%上昇しました。目標達成に向けて、整備を続けていきます。
- 川をきれいにす啓発イベントについては、殿川とホテルを守る会（町民団体）が清掃活動（2回）、馬場小学校の4年生とともにホテルの幼虫放流を実施し、目標値を満足しています。

## 施策や取組の現状と課題

### 1-1 川・池・海の水質を改善する

- 町及び福岡県が継続的に水質モニタリングを実施しています。町が実施する調査は、河川の水質について町内11河川（13地点）で年4回、海の水質について荇田港内外10地点で年1回行っています。結果は広報かんだと町や県のホームページで情報提供しています。今後も継続してモニタリングを実施していきます。
- 農業において化学肥料等削減の啓発推進や、希望する家庭にEM活性液を無料配布し、家庭からの生活排水をきれいにするにより、河川・海域の水質改善に取り組んでいます。今後も施策を継続し、水質改善に取り組んでいきます。

### 1-2 生活排水対策などで水環境を守る

- 公共下水道の認可区域を着実に整備し、供用開始区域を拡大し、整備区域内における速やかな接続を促します。公共下水道認可区域外では、合併処理浄化槽設置者に対する補助金等の支援により、合併処理浄化槽の設置を推進しています。また、白川南部地域では農業集落排水処理施設を整備しています。公共下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水処理施設の整備により更なる生活排水処理率の向上を目指します。
- 町と環境保全協定を締結している15の工場・事業場について、排出水の調査を年1回行っています。協定の水質基準値を超えている場合は、当該事業者に対して原因調査や施設改善等の指導を行っています。今後も継続して調査していきます。

### 1-3 水とふれあい、水資源への意識を高める

- 殿川とホテルを守る会（町民団体）が清掃活動（2回）、馬場小学校の4年生とともにホテルの幼虫放流を実施しました。例年実施していた川の生きもの調査は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できませんでした。今後も町民団体の活動を支援するとともに多くの方に参加してもらえるような水にふれあえるイベントの開催を目指します。
- 河川工事をする際は、川に生息する野生生物の生育を阻害しないよう工事の方法や時期に配慮します。
- 町民団体が実施する川をきれいにする活動の支援を行うとともに、活動の様子をホームページや広報誌に掲載し、町民・各種団体・事業者へ水資源の大切さを知ってもらえるよう啓発しています。
- 「水道週間」のポスター掲示等により、水資源の大切さを町民・事業者へ啓発しています。

## 基本目標2

大気：すがすがしい空気と心地よい環境で人々が快適に過ごすまち

### 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23 年度)	現況値 (R3 年度)	目標値 (R5 年度)	評価
環境指標	大気汚染の環境基準適合状況※1	100%	100%※3	100%	A
	降下ばいじんの目標達成状況※2	100%	100%	100%	A
	公害苦情件数(騒音・振動・悪臭)	9 件	27 件	現況値より 減少	C
取組指標	協定に基づく事業所ばい煙測定 回数	1 回/年	1 回/年	1 回/年	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※1 大気汚染の環境基準適合状況=二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の環境基準達成の割合

なお、光化学オキシダントについては、全国的に環境基準を達成できていない状況であり、町独自の対策を実施することも困難であるため、環境指標には設定せず、経年変化の把握のみ行うこととします。

※2 降下ばいじんの目標達成状況=測定値点数に占める目標達成地点数の割合

※3 平成 30 年度の数値(福岡県の公害関係測定結果より)

- 大気汚染の環境基準適合状況については、環境基準を達成し、目標値を満足しています。
- 降下ばいじんの目標達成状況については、町内 1 2 地点すべてで目標を達成し、目標値を満足しています。
- 公害苦情件数については、27 件（うち、騒音 5 件 悪臭 4 件 大気汚染 10 件 その他 8 件）となっており、前年度（21 件）より 6 件増加しています。目標達成に向けて、住民や事業者に対して周知・啓発・指導を行っていきます。
- 環境保全協定に基づく事業所ばい煙測定については、9 事業所で実施し、目標値を満足しています。

### 2-1 大気環境を保全する

- 町及び福岡県が継続的に大気環境のモニタリングを実施しています。町が実施する降下ばいじん調査は、町内12地点で毎月1回行っています。また福岡県が役場庁舎に大気汚染常時監視測定局を設置しており、常時測定が行われています。測定結果や光化学オキシダント、PM2.5に関する情報は広報かんだと町や県のホームページで情報提供しています。環境指標の目標値は達成できていますが、今後も継続してモニタリングを実施し、大気環境問題の未然防止に努めます。
- 町と環境保全協定を締結している9の工場・事業場の11施設について、排ガスのばい煙調査を年1回行っています。協定の大気基準値を超えている場合は、当該事業者に対して原因調査や施設改善等の指導を行っています。今後も継続して調査していきます。
- 町では環境にやさしいハイブリッド車や電気自動車を公用車に導入するなど、自動車排ガスの低減に取り組んでいます。町民・各種団体・事業者には、エコドライブ（環境に優しい運転の仕方）について、情報発信の充実に取り組みます。

### 2-2 騒音・振動・悪臭・有害化学物質による汚染を防ぐ

- 自動車騒音・振動については、福岡県がモニタリングを実施しています。町では、その結果を確認し、苦情原因になりそうな場合は関係機関と協議するなど問題の未然防止に努めます。
- 法令で規制されない苦情が増加傾向にあるため、町民や事業者に対し広報かんだやホームページ等で苦情が発生しないよう情報発信の充実に取り組みます。
- 工場・事業所の騒音、振動については、町が適正な届出の指導や助言を行っています。また施設等の適正な使用・管理について、監視・指導を行っています。
- 有害化学物質については、福岡県が実施する研修会や文書等で情報収集を行っています。有害物質の適正な管理について、該当する事業者は福岡県に届け出る義務があり、県や事業者で適正管理に努めています。過去に問題となった事例はありませんが、町内で問題が発生した場合には県や関係機関と連携し迅速に対応を行います。

### 基本目標③

## ごみ：ごみを減らし、資源が循環するまち

### 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R3年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	町民1人1日あたりのごみ排出量※1	1,016g/人/日	952g/人/日	914g/人/日	B
	ごみのリサイクル率 (RDF化除く)※1	15.3%	16.7%	25.0%	B
取組指標	資源ごみの拠点回収の 箇所数	6箇所※2	16箇所	16箇所	A
	集団回収登録団体数	46団体	34団体	60団体	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない

※1 「苅田町一般廃棄物処理基本計画」(平成26年3月)と共通の指標

※2 基準年値は平成25年度(紙ごみ拠点回収事業開始が平成25年6月のため)

○町民1人1日あたりのごみ排出量については、前年度(983g)から31g減少しています。目標達成に向けて、ごみ減量化意識の向上推進に努めていきます。

○ごみのリサイクル率については、前年度(16.9%)より0.2%減少しています。目標達成に向けて、リサイクル回収品目の増加等に努めていきます。

○資源ごみの拠点回収の箇所数は、紙ごみ6箇所・古着10箇所となっており、目標値を満足しています。

○集団回収登録団体数は、前年度(35団体)から1団体減少しています。目標達成に向けて、制度の周知など登録団体が増加するよう努めていきます。



## 施策や取組の現状と課題

### 3-1 ごみ減量を推進する

- 町民1人あたりのごみ排出量は952gとなっております。全国平均は901g(令和2年度実績)であり、町民1人あたりのごみ排出量はまだまだ多い状況にあります。
- ごみ排出量の抑制について、資源物の分別回収等の家庭・事業所でできる取り組みについて、広報かんだやホームページなどを通して情報発信しています。今後も新しい取り組みなど随時紹介し、ごみ減量に対する意識向上を図っていきます。
- ごみ処理有料化については、今後も検討を行なっていきます。

### 3-2 ごみの分別・リサイクルを推進する

- ごみの分別ルール等を、広報紙やホームページ及びLINE等で町民に啓発しています。
- 家庭から排出される燃やせるごみの中には、紙類のように再資源化できる物が混入しています。町民の資源化に対する意識の向上を図り、再資源化への啓発を進めるとともに、紙ごみの分別収集ができるよう関係機関と調整していきます。
- リユース活動推進の取組として、毎年12月に開催される地産地消フェアにおいて、エコバッグを配布していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となり、取組の実施はできませんでした。また、役場内の物品調達については、再生資源を使った製品を使用しています。令和2年7月からレジ袋が有料化され、エコバッグを使用して買物する町民は着実に増加しています。

### 3-3 ごみについて考える機会を増やす

- ごみ排出について、広報かんだやホームページ等で情報を発信していますが、イベント等での一般町民に対しての周知する機会増を検討していきます。
- エコプラントやリサイクルセンターの見学については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い令和3年度は、見学者の受入を行いませんでした。コロナ収束後は、見学を積極的に受け入れていきます。

### 3-4 ごみ処理システムを改善する

- 分別回収を徹底するため、ごみ出しルールの周知を行っており、ルール違反ごみについては排出者への指導を行っています。ごみ出しルールの啓発を推進します。
- エコプラントの長寿命化対策や、町の特性を活かした環境配慮型の効率的で合理的な処理システムについて、情報収集に努めます。

## 基本目標4

みどり・生き物：みどり豊かな自然や生き物とふれあい、育むまち

### 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R3年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	森林面積※1	1,652ha※2	1,672ha※3	現況地を維持	A
	耕地面積	570ha※4	553ha	現況値を維持	C
	自然環境に満足している 町民の割合(★)	19.5%	34.3%	現況値より 増加	A
取組指標	殿川のホタル確認数	65頭	約301頭	500頭	B
	自然観察会等の実施回数	1回	0回	2回	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない  
(★)は「第4次刈田町総合計画」と共通の指標。

※1 森林面積=農林水産省が5年ごとに実施する「農林業センサス」によって把握。

※2 基準値は平成22年度の値。

※3 現況値は平成27年度の値。

※4 基準値は平成24年度の値。

- 森林面積については、前年度（1,680ha）から、8ha減少しましたが、目標値を満足しています。
- 耕地面積については、前年度（553g）と同じ面積となっています。目標達成に向けて、農地を管理する人に対する支援を行っていきます。
- 自然環境に満足している町民の割合については、前回の結果（25.3%）から9%上昇し、目標値を満足しています。
- 殿川のホタル確認数については、前年度（284頭）から若干増加しました。目標達成に向けて、ホタルが生息しやすい環境整備に努めるとともに、保護活動をしている団体に対して支援を行います。
- 自然観察会等の実施回数については、前年度（0回）と同じでした。新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベント等が実施できませんでした。目標達成に向けて、コロナ収束後は、イベントを開催していきます。



## 施策や取組の現状と課題

### 4-1 山・里山・川・池・海を守り、生き物を大切にする

○開発行為が行われる際に、その影響を回避するための措置を行うよう可能な限り助言や指導を行っていきます。

○河川工事の際は、自然環境に配慮した整備を行っています。今後も有識者や河川工事担当課と連携を取り合って、自然に配慮した維持管理を行っていきます。

### 4-2 自然とのふれあいを促進する

○新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例年実施していたイベント等が実施できませんでした。コロナ収束後は、例年と同等程度のイベント開催を目指して、自然とふれあう実施プログラムの開発や、受け入れ体制の整備を行っていきます。

○町内の生き物情報はこれまで発信していなかったのですが、今後は広報かんだやホームページに自然観察会で発見した生物情報などをわかりやすく積極的に発信していきます。



平尾台

## 基本目標5

まちなみ：まちなかのみどりと親しみ、自然と調和した美しいまち

### 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23 年度)	現況値 (R3 年度)	目標値 (R5 年度)	評価
環境指標	町民 1 人あたりの都市公園面積	5.4 m <sup>2</sup> /人	5.3 m <sup>2</sup> /人	10 m <sup>2</sup> /人	C
	住環境に満足している町民の割合 (★)	18.7%	20.0%	現況値より 増加	A
取組指標	環境美化の日のごみ回収量 (2t 車台数)	250 台	147 台	現況値より 減少	A
	花いっぱい運動への参加団体数	19 団体	29 団体	50 団体	B
	歴史・文化財関連の講座・イベント ※1の実施回数※2	15 回	6 回	18 回	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※(★)は「第4 時 菟田町総合計画」と共通の指標。

※1 歴史・文化財関連の講座・イベント=「かんだ郷土史研究会」や「菟田ガイドの会」との連携等によって実施する講座・イベントのうち、歴史的・文化的資源を直接、鑑賞等で活用するもの(例：まち歩き等)

※2 菟田町観光協会「菟田ガイドの会」の講座・イベントを追加しました(平成28年度成果より)

○町民 1 人あたりの都市公園面積については、前年度 (5.3 m<sup>2</sup>/人) と同じで横ばいで推移しています。目標達成に向けて、都市公園を整備していきます。

○住環境に満足している町民の割合については、前回の結果 (18.9%) から 1.1% 上昇し、目標値を満足しています。

○環境美化の日のごみ回収量については、前年度 (151 台) より 4 台減少しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、年 2 回開催のうち 1 回が実施できなかったため、目標値を満足しています。

○花いっぱい運動への参加団体数については、前年度 (29 団体) から減少しています。目標達成に向けて、町民やボランティア団体、企業等に参加を呼びかけます。

○歴史・文化財関連の講座・イベントの実施回数については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、減少しました。目標達成に向けて、コロナ収束後は、講座・イベントを実施します。

### 5-1 身近なみどりを増やす

○既存公園については、年2回花植えを行い美しい街並みを形成するため、まちなかでの緑化を推進しています。また、緑地の保全整備を進めるとともに、緩衝緑地について整備や見直しについての検討を進めます。

○花いっぱい運動への参加団体数は29団体となっており、地域や町民と協働した取組を通じて美しい町並みの形成の推進を図ります。

### 5-2 まちをきれいにする

○春と秋の年2回「環境美化の日」に各区住民や協力業者により、町内一斉清掃活動を実施していますが、令和3年度は秋に1回実施しました。ボランティア参加のごみ運搬協力事業者数が減少傾向にあり、地域住民の高齢化等継続していく上で課題もありますが、今後も参加協力を呼びかけます。

○一定区間の町道や公園、河川の美化活動を行う団体と協定を結び道路・公園・河川サポート活動団体として町が公認し、活動を支援しています。令和3年度末時点での団体数は、道路16団体、公園4団体、河川1団体の合計21団体で、昨年度（19団体）より増加しています。

○不法投棄箇所やルール違反ごみの多いごみ集積場所には、看板等の設置により啓発を行っています。

○ごみ集積場所に分別しないままごみを出したり、他の地域の人がごみを投棄したりすることが問題となっています。所有者やごみ集積場所の管理者と連携し、注意啓発看板を設置する等不法投棄の発生防止を図ります。また不法投棄の通報に際しては、現地確認・排出者への指導を行い、悪質な場合は警察に通報するなど適正に対処していきます。

### 5-3 良好な景観を形成する

○景観に配慮した道路等については、福岡県と整備箇所や時期などについて協議を進めます。また、景観計画の届出制度については、福岡県と連携し一層の周知に努めます。

○良好な景観を形成するため、建築物や屋外広告物に対して景観法や地区計画に基づき適宣指導を行っています。

○かんだ郷土史研究会・苅田ガイドの会との連携により、まちの歴史を学ぶ講座や視察研修を行っています。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、講座等の開催機会が減少しましたが、今後も感染対策を実施しながら講座や見学会を実施します。

## 基本目標⑥

### エネルギー：エネルギー問題に取り組み、地球温暖化防止に貢献するまち

#### 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23 年度)	現況値 (R3年度)	目標値 (R5 年度)	評価
環境指標	温室効果ガス総排出量	3,183 千 t-CO <sub>2</sub>	3,383 千 t-CO <sub>2</sub> *4	—	—
	家庭部門の町民 1 人あたり CO <sub>2</sub> 排出量	1.65 t- CO <sub>2</sub>	0.78 t- CO <sub>2</sub>	—	—
取組指標	公共施設の温室効果ガス排出量 *1	7,515 t-CO <sub>2</sub>	4,467 t-CO <sub>2</sub>	5,185*3 t-CO <sub>2</sub>	A
	省エネルギー・再生可能エネルギーに関する情報提供回数*2	7 回	8 回	10 回	B
	公共施設における再生可能エネルギー設備の導入件数(累計)	2 件	2 件	現況値より 増加	B
	コミュニティバスの利用者数	109,273 人	54,554 人	現況値より 増加	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※1 公共施設の温室効果ガス排出量=「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」(平成31年2月策定)と共通の指標  
基準年値=(平成25年度における温室効果ガス排出量)「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」より

※2 省エネルギー・再生可能エネルギーに関する情報提供回数=広報かんだや町ホームページ等において、省エネルギー・再生可能エネルギー設備機器の紹介や、国や県の補助金制度等の情報提供を行った回数

※3 目標値は、「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」の令和5年度目標値を反映しています。

※4 平成31年度の数値

○温室効果ガス排出量は、平成29年度(4,926千t-CO<sub>2</sub>)をピークに減少傾向にあります。また家庭部門の町民1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量は年々減少しています。

○公共施設の温室効果ガス排出量については、前年度4,160(t-CO<sub>2</sub>)から増加しましたが、目標値を満足しています。

○公共施設における再生可能エネルギー設備の導入については、白川小学校と町民温水プールに太陽光発電装置が設置されていますが、増加はしていません。目標達成に向けて、公共施設の更新の際には再生可能エネルギー設備の導入を検討します。

○コミュニティバスの利用者数については、前年度(58,873人)より減少しています。目標達成に向けて、利便性の向上に努めます。

### 6-1 エネルギーを大切にし、効率的に使う

- エコファミリーやエコ事業所などの取組みへの参加を、広報かんだやホームページなどで広く町民や事業所に向け情報提供しています。また令和3年度は地球温暖化防止活動推進員と連携してエコ出前講座を3回開催し、省エネ行動を普及啓発しています。
- 公共施設ではコピー機や照明などを省エネ製品に切り替え、機器の更新時には省エネ機器の導入を進めています。役場庁舎内には、電気使用量の監視装置を設置し、電気使用量の抑制に努めていますが、役場庁舎の令和3年度電気使用量は696,357kWhで、前年度から295kWhの減少にとどまりました。また、自治会の防犯灯については、LEDに取替えを進めています。
- 住宅や工場などを新築・改築する際に高断熱化や省エネ設備の導入など、環境に配慮した建物を選択できるよう国や県からの情報を提供します。

### 6-2 再生可能エネルギーを活用する

- 再生可能エネルギー導入について、補助などの情報提供や普及啓発を行っています。
- 町有地の有効利用や公共施設の更新の際には再生可能エネルギー導入を検討します。

### 6-3 車利用による二酸化炭素排出を減らす

- 町のホームページでエコドライブの啓発を行っています。また、エコカーの普及を進めていきます。
- 町の公用車については、8台（電気・ハイブリット）を導入しています。引続き環境にやさしい車の導入を推進します。
- コミュニティバスの利用者数については、平成27年度の運賃値上げや新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用者が落ち込んでいます。より多く町民の方に利用していただけるように、ルート等の見直しや他の交通機関との乗り継ぎ向上等より、利用促進に取り組んでいきます。

## 基本目標7

# 人：一人ひとりが環境を考え、学び、行動するまち

## 令和3年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R3年度)	目標値 (R5年度)	評価
取組指標	環境関連講座・イベントの 実施回数	8回	3回	10回	C
	「環境レポート <sup>※1</sup> 」の作成・公表	—	年1回	年1回	A
	広報かんだへの環境記事掲載回数	92回	95回	現況値より 増加	B
	町民計画推進組織（かんだエコね っと） <sup>※2</sup> の会員数 (個人会員・団体会員・企業会員)	—	7会員	30会員以上	B

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※1 環境レポート＝本計画に掲げた目標の達成状況や施策・事業の実施状況について、各年度の成果をとりまとめた報告書のこと。

※2 町民計画推進組織（かんだエコねっと）＝本計画の実行組織としての団体のこと。町民・各種団体、大学等教育機関、事業者等で構成されます。

- 環境関連講座・イベント実施回数については、前年度（2回）より増加しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベント開催はできませんでした。目標達成に向けて、コロナ収束後はイベントを企画・実施します。
- 「環境レポート」の作成・公表については、ホームページにて公表し、目標値を満足しています。
- 広報かんだへの環境記事掲載回数については、前年度（95回）と同等で、目標値を満足しています。
- 町民計画推進組織（かんだエコねっと）については、1団体の新規がありました。目標達成に向けて、かんだエコねっとの活動内容の発信を町ホームページ等で積極的に行い、組織が町民や団体にとって、身近に感じられる存在となることを目指していきます。



## 施策や取組の現状と課題

### 7-1 環境教育・学習を推進する

○地球温暖化防止活動推進員と連携して、小学校（1校）、地域の団体（1団体）、公民館講座（1講座）でエコ出前講座を開催しました。全ての小学校での出前講座の開催を目指します。また、一般町民対象のエコ出前講座を開催できるように仕組みづくりに取り組みます。

○小学校の総合的な学習の時間に、環境に関する学習を実施しています。

### 7-2 環境情報を発信する

○広報かんだやホームページ、LINE等で環境に関する情報を発信しています。

○環境レポートを作成し、ホームページで公表しています。

### 7-3 環境に取り組む人・団体をつなぐ

○かんだエコねっとの登録団体や個人については、会議室の提供や清掃活動等の資材の提供を行っています。

○かんだエコねっどにおいて、環境保全活動に取り組む各種団体や個人などの相互ネットワーク化を図り、広報かんだ等を通して会員数の増加に向けた取り組みを行います。

○かんだエコねっどには事業者の参加がないため、今後は事業者の登録促進を行っていき、個人・団体のネットワークづくりを推進します。



西町区いきいきサロンでのエコ出前講座